

野菜の植えつけ株数の目安(65cmプランターの場合)

- 2株……キュウリ・トマト・ナス・ピーマン・エンドウ豆・芽キャベツ・セロリ・シソ等
- 3株……インゲン・枝豆・レタス・ツルムラサキ・アスパラ等
- 4~5株……春菊・サラダ菜・パセリ・フォントサイ等
- 10株……コールラビ・タマネギ・ニンニク等

用土の入れ方

赤玉土が身近にある畑や庭先の土6~7に腐葉土(またはピートモス)3~4を混合したものが基本になります。または市販の野菜の培養土をそのまま使いに便利です。

- ①用土に石灰を10eにつき約10g混ぜ、その1、2日後に元肥(有機肥料)を混ぜます。(10eにつき約20g)
- ②底にゴロ土を入れてから、用土をその上に入れ、表面を板で平均にならします。

ベランダで栽培できる主な野菜

(代表的なものを裏面の表に上げています。その他の品種については係員にお尋ねになるか、種の袋の裏を参考にしてください。)

連作と輪作

●連作

同じ場所に同じ種類の野菜を毎年続けて栽培することで、種類によっては収穫が少なくなったり、極端になると収穫できないこともあります。

<連作に強い野菜>

コマツナ・ホウレンソウ・シュンギク・サントウツアイ・タアツアイ・ニラ・シソ・カボチャ等

<連作に弱い野菜>

トマトナス・ピーマン・トウガラシ・エンドウインゲン・ソラマメ・ジャガイモ・キュウリ・ニンジン等

●輪作

連作を考慮して2種類以上の野菜を組み合わせることで、相性のいい野菜を組み合わせることで連作の障害をなくすことです。

<輪作例>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ツケナ												消費											
ミニトマト				ワケギ				レタス				セロリ											
コールラビ・サラダ												ハネギ											
スナップエンドウ(雑性)												シュンギク											
ウマイナ				コカブ				サラダ				フダンソウ				ペコロス							
カイク												消費											

□コカブ ▲ 植え付け ▼ 収穫 ○ トンネル保護

土の酸性度

植物には酸性を好むものとアルカリ性を好むもの、そしてそのどちらも嫌う中性好みのものがあります。日本の土壌は酸性が多いので、アルカリ性や中性を好む植物の土は改良しなくてはなりません。年に一度消石灰か苦土石灰を少し与えて、酸性を中和するかアルカリ化しましょう。

●酸性に強い野菜 サツマイモ・トウモロコシ等

●酸性に弱い野菜(中性から少しアルカリ性)

ホウレンソウ・レタス・ニンジン・エンドウ・セロリ・カリフラワー・メキャベツ・アスパラガス等



無農薬栽培のすすめ

ベランダ栽培ですから農薬は使わないで、虫喰い野菜でもあまり気にしないで食べましょう。自分で栽培したのですから安心です。害虫がいたらこまめにつまみとって害を少なくしましょう。被覆資材も上手に使いこなし、夏は日陰に、冬は日当たりのいい場所へと移動させたり、輪作などを行っている、成功率が上がります。またテレビでもネギやニンニク、ニラ、しょうが、酢、焼酎等を使った安全で無害な農薬が紹介されたりしています。古くなった牛乳も捨ててしまわないで、スプレーでアブラムシにかけてください。牛乳の膜がアブラムシを窒息させるので退治できます。



サービスのご案内

●クレジットもご利用になれます。

配送・ベカ便 切り売り商品 修理
返品・交換 表札、額の受注 スペアキーづくり



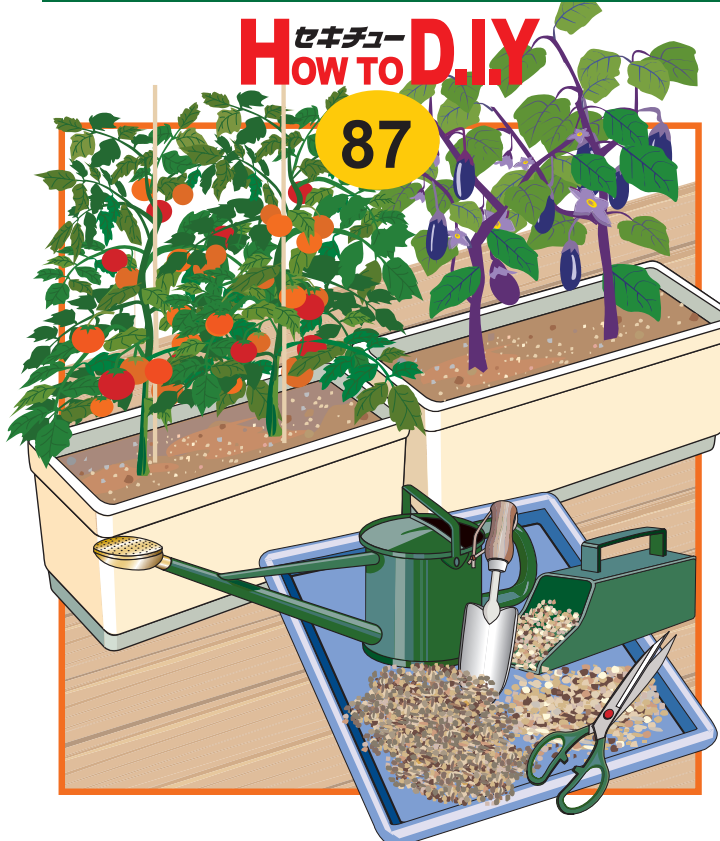
制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

ベランダ菜園

自分でやってみよう!



アパートとかマンションだから家庭菜園なんて縁がない、なんて思っていませんか。アパートやマンションだって広くなくてもベランダがあります。そうです、ベランダにプランターを置いて、そこで野菜が育てられるのです。畑がなくても自分で作った野菜を食べられる快感は何ともいえません。大根や長ネギ、ごぼうなどの深い土が必要な根菜以外はほとんど作れてしまいます。きゅうりやトマト、なす等を中心に管理のやさしい野菜の育て方を紹介します。

Do it Yourself & Save

プランターや鉢を使って、ベランダで野菜を栽培しましょう

種類	備考
ほうれん草	★タネまき/3月下旬～5月上旬 全面にばらまき、薄く土をかける 土は庭土7腐葉土3 ★追肥/チッソ分の多い化成肥料を月に1、2回 ★収穫/春まきで約50日、秋まきで約50日から翌春に ★病虫害/べト病、炭疽病、アブラムシ、ヨトウムシ ★酸性土に弱いので、培養土はタネまきの1週間前に石灰大さじ1で中和する
春菊	★タネまき/3月下旬～4月中旬 9月上旬から10月上旬 全面にばらまき、薄く土をかける 土は庭土5腐葉土5 ★追肥/化成肥料を月に2回 ★収穫/15～20cmに伸びたら葉先を7～8cm収穫 ★病虫害/アブラムシ ★発芽したら間引くこと 水は土が乾いてから
たまねぎ	★苗植え/9月中旬～10月中旬 2列に適当な感覚をあけて 土は庭土5腐葉土5に草木灰を少々 ★追肥/3要素等量の化成肥料を3月までに3回 ★収穫/翌年4～5月 ★病虫害/べト病、サビ病、黒斑病 ★小さい球を選んで植えること
トマト	★苗植え/5月上旬～5月中旬 65cmプランターに2、3本 土は庭土5と腐葉土5に中粒の赤玉土を底一面に入れる ★追肥/3要素等量の化成肥料を月に2回 ★収穫/7月中旬～8月中旬 十分に色づいてから ★病虫害/モザイク病、青枯れ病
ナス	★苗植え/5月上旬～6月上旬 65cmプランターに2、3本 土は庭土5と腐葉土5に中粒の赤玉土を底一面に入れる ★追肥/3要素等量の化成肥料を月に2回 ★収穫/6月下旬～9月下旬 大きくなりすぎないうちに、特に一番果は早めに収穫 ★病虫害/ニジュウヤホシテントウ★1.5mほどの支柱を立てること 芽かきと剪定が肝心 連作を嫌うのでトマトやピーマンの後に植えないこと 吸水が激しいので毎日水やり
きゅうり	★苗植え/5月上旬～6月下旬 10号鉢に1本 支柱を4本立てて、あんどん作りにする 土は庭土5と腐葉土5 ★追肥/3要素等量の化成肥料を月に2回 ★収穫/6月下旬～10月中旬 大きくなりすぎないうちに ★病虫害/青枯れ病、つる割病、べト病、ウドンコ病 雌雄異花のため人工受粉するとよく実がなる 成長にもなってこまめに整枝する ★連作を嫌うので毎年違う土に植える
ピーマン	★苗植え/5月上旬～6月上旬 5～7号鉢に1本 土は庭土5と腐葉土5に中粒の赤玉土を底一面に、深さの5分の1ほど入れる ★追肥/3要素等量の化成肥料を月に1回 ★収穫/8月上旬～10月中旬 色つやのあせないうちに ★病虫害/青枯れ病、モザイク病、アブラムシ ★整枝は必要なし 吸水が激しいので毎日水やり
つるなしインゲン	★タネまき/4月中旬～5月中旬 2、3粒まとめて間隔をあけて一条に埋める 土は庭土5と腐葉土5に草木灰を少々 ★追肥/3要素等量の化成肥料を本葉2枚のときに その後月に一回 ★収穫/6月中旬～8月上旬 ★病虫害/ウドンコ病、アブラムシ、★タネは一晚水につけて吸水させてからまく
枝豆	★タネまき/4月中旬～5月中旬 2粒ずつ、2列に指の1関節分だけ埋める 土は庭土5と腐葉土5に草木灰を少々 ★追肥/3要素等量の化成肥料を本葉2、3枚のときに株元に、一ヶ月後に草木灰を少々 ★収穫/6月中旬～8月中旬 さやが6～7分通りふくらんだらハサミで株元を切って収穫 ★病虫害/アブラムシ ★間引きは必要なし
つるなしエンドウ豆	★タネまき/10月中旬～下旬 1か所に2、3粒ずつ、1列に指の1関節分だけ埋める 土は庭土5と腐葉土5に草木灰を少々 ★追肥/3要素等量の化成肥料を11月中に1回 その後収穫まで2、3回草木灰を少々 ★収穫/4月中旬～5月下旬 ★病虫害/ウドンコ病、アブラムシ ★連作を嫌うので、同じ土には4年ほど使わないこと
人参	★タネまき/3月中旬～4月中旬 8月中旬 深めのプランターに2列にすじまきする 土は庭土5と腐葉土5に草木灰を少々 ★追肥/3要素等量の化成肥料を本葉の間引いたときにそれぞれ1回 ★収穫/5月中旬～6月中旬、10月下旬～11月下旬 ★病虫害/ネコセンチュウ ★本葉が3、4枚、6、7枚のときに間引く そのつど土寄せして人参が土の上に出ないようにする
二十日大根	★タネまき/3月下旬～5月下旬 深めのプランターに全面にばらまく 土は庭土7と腐葉土3 ★追肥/化成肥料を1、2回 ★収穫/5月上旬～7月下旬 ★病虫害 アオムシ ★3～4日で発芽したら間引き、料理に利用する 水は土が乾燥してから
カブ	★タネまき/3月中旬～5月中旬 8月中旬～9月中旬 深めのプランターに全面にばらまく 土は庭土7と腐葉土3 ★追肥/化成肥料を間引き後1回 ★収穫/5月下旬～6月中旬 10月中旬～11月中旬 ★病虫害/べト病、黒斑病 ★3、4日で発芽したら間引き、料理に利用する 水は乾燥してから

容器と道具、資材



★12eの野菜の培養土は65cmのプランターにちょうど1杯分の量なので便利です。容器は他にポリバケツ(底に熱したキリ等で穴をあけておきます)や、発泡スチロールの箱等も利用できます。(底にすのこを敷くか穴をあけておきましょう)

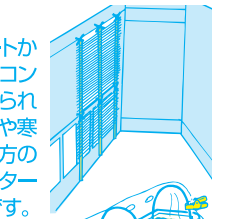
プランターで上手に栽培するための知恵

- それぞれの野菜に合った大きさ、深さのプランターを選び、底には必ず排水用の穴をあけておきましょう。
- 用土は水はけのいいのが一番。腐葉土と畑土(赤玉土)を基本にすると、コロ土 すき間 附属のすのこ 培養土 11いでしよう。
- 用土が少ないので、追肥は少なめに。(用土10eに対して10gぐらいの化成肥料が適当です。)
- 水やりは(ナスやピーマンなど以外は)毎日少しずつやるのではなく、土が乾いてきたら、底から水があふれ出るぐらいたっぷりやりましょう。
- 日当たりのいい場所に置きましょう。
- 冬の防寒、夏の暑さ対策を忘れずに。1回栽培を終えるごとに庭に張った根を取り除き、1年に1回は土をひが新聞紙などの上にあけて、日光消毒をしましょう。

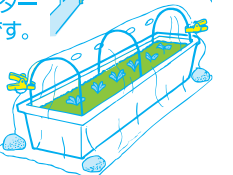


ベランダ栽培で気をつけたいこと。

- 暑さ対策
夏は照り返しが強く、夜も暖められたコンクリートから出る副射熱で冷えません。さらにエアコンの室外機がそばにあるとその熱風で傷めつけられます。室外機からできるだけ離して置き、よしずや寒冷紗で日除けしますが、風通しはいいように四方のうち二方はあけるようにしましょう。またプランターの下にはすのこや人工芝を敷くのもいい方法です。



- 寒さ対策
寒さに強い野菜(ホウレン草・エンドウ豆・ソラ豆・たまねぎ・キャベツ・ブロッコリ・白菜等)は冬から春先にかけてもプランターで栽培できます。暖かい所では日当たりのいい場所で栽培し、寒い所ではプランターにビニールをかけてトンネル栽培します。他にキュウリやトマト、アスパラガス、インゲン等もトンネル栽培できますのでチャレンジしてください。



- 乾燥対策
ベランダは雨がほとんど降りこまず、乾燥しやすいので、水やりには気をつけましょう。暑い日の夕方は周囲に打ち水をしたり、水を張ったバケツをそばに置いたりするだけでも違ってきます。

